

千代五郎 甚九郎 こけしの謎

—— 徳穂 ——



二男甚九郎と病み上がりの千代五郎（昭和11年9月）

三土新明会第四回

箕輪新一



八十歳ころの織江 (画像)





晩年の甚吾（死去28日前の明治43年7月9日撮影）

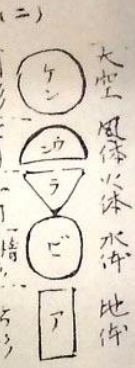




概別して形作りタルニ齊し  
 因に次に図形ヲ掲ケテ参考ノ材トス

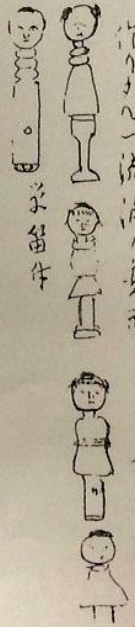


如上ノ図形ト三角ヲ組ミ合セタルモノカ古キニ付  
 の原型テ有ツト云ヘリ此ノ真相ヨリ既々ト技術師カ  
 体載して出ヌタチガ下圖如ク



大空 風條 火体 水 地 仰  
 水 金 火 水 土

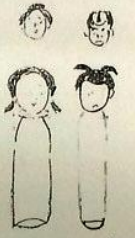
亦仏道ヨリ生シタル合作法ニシテ或ハ五輪体  
 ト稱セリ 斯ノ圖案ヲ原型トシこけしの体容  
 フ企テ作りタル一流流ノ変型ニ又ク種々トシテ  
 如シ



(三)  
 又イ日本神代ヨリ有ツタト云フ鈍刀作り人形ノ標語ハニ付シト  
 言ヒテ古稀子ノ文字ヲ用ヒ今猶ホ世ニ遺リテ俗ニ佛神明像ト  
 呼ビテ伊弉那岐伊弉那美ノ尊像ナリト稱ヒテ男女形体ヲ一様ト  
 シニテ原型ヨリ造化シタルモノ有シトモ之ハ主トシテ彫工師ノ手ニ  
 リ糖糴味ハ多ク頑ラガリナリ

人形  
 彫工師ノ手ニ  
 彫ミ付テ以下衣板ヲ着セタルモノ

上圖如キハ則チ純粹日本ノ人手ニ出ヌタル由ニテ  
 之ハ木彫リノ丸棒ノ其ハ无端ノ頭下面自ラ



概別

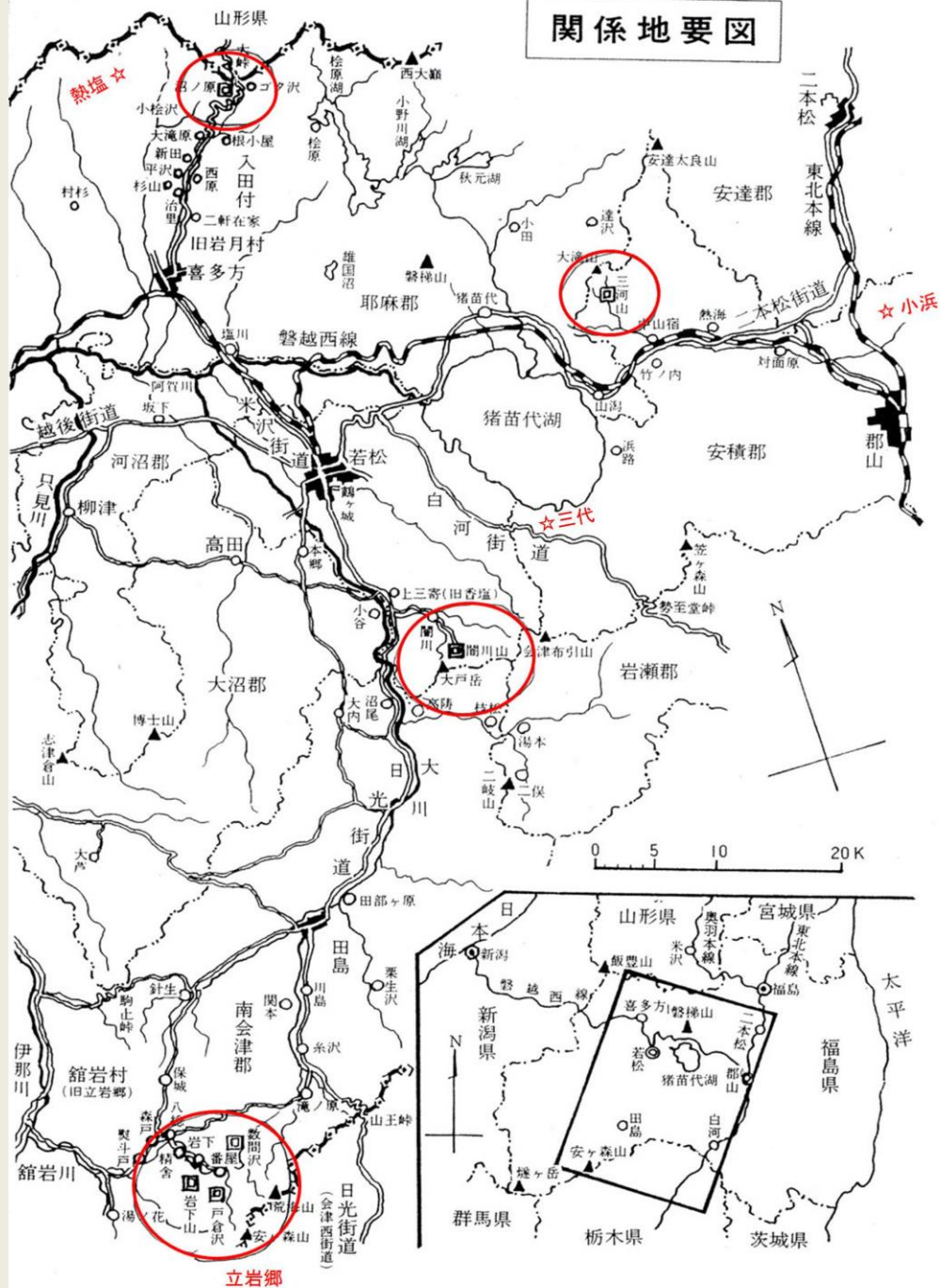
斯ノ如クニシテ(一)ハ佛教本位ノ思想時代ニ出ヌモノカト思  
 料シ而テ後世ノ人々ガ己カ自體ヲ自ラ發覺的ニ技能ニ任  
 セテ思ヒタミ改良シテ進メタル原型ノ傳ハリナリ

其(二)ハ然カモ仏道ノ知識ヲ進メ解訛ツ詳カニシタル  
 形式ニシテ或ハ梵土ニ生シタル木形子ノ精義ナリト思ヘリ  
 (三)ハ我が國土原始時代ヲ思想シ及者知識ノ求ムル所ニヨ  
 ル骨相五輪ノ原型ヲ示シタルモノニテ後世迄々推後  
 ニ隨テ技術者ガ觀美ニ執キ其ノ形容ヲ直シ体載ツ施シ  
 タル物カテ時方ニ分輩等ノ託膝ニ止マリ巧技ヲ爭フ所  
 ナリト考ヘリ

茲ニ予等少壯時代ニ老匠等リ訓諭セラタ一言ニシテ現  
 今製作上大ニ參考ニ足ルハキ一項ヲ記ス

謂ク木形子ヲ製造スル者リ面相或ハ体載ニ美術ヲ施ス  
 其ノ全体ノ其ノ一部分ニ美術ヲ現カシテ以テ其ノ全体ノ  
 活及セシムル事ヲ良トスト 或ハ帯ト認ムル或ハ裾  
 ト見ル或ハ襟リ或ハ袖或ハ首或ハ面ノ五根ニ  
 注意シ或ハ頭髪或ハ目或ハ口或ハ其ノ美ノ一点ヲ施シテ

# 関係地要図



立岩郷

















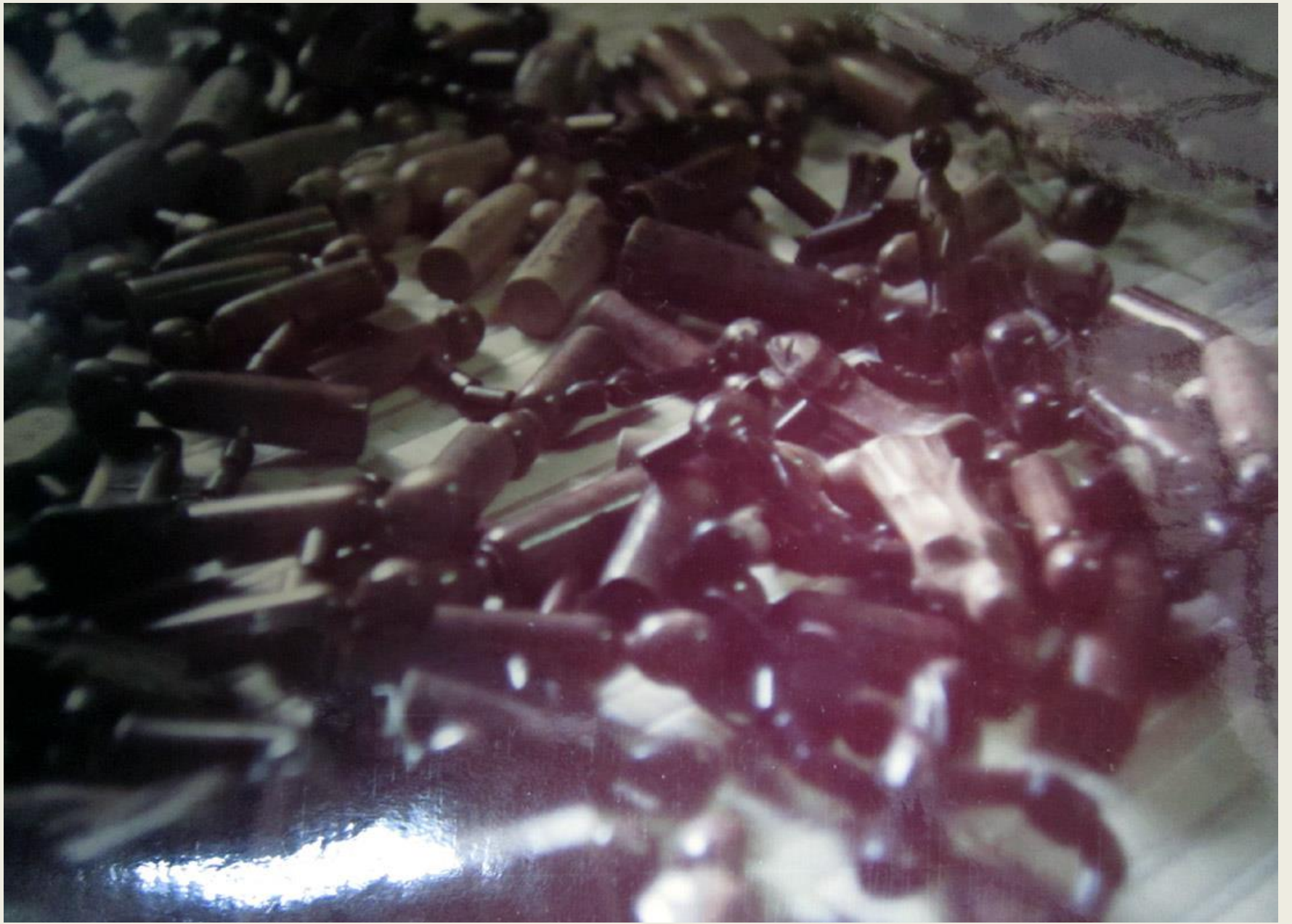












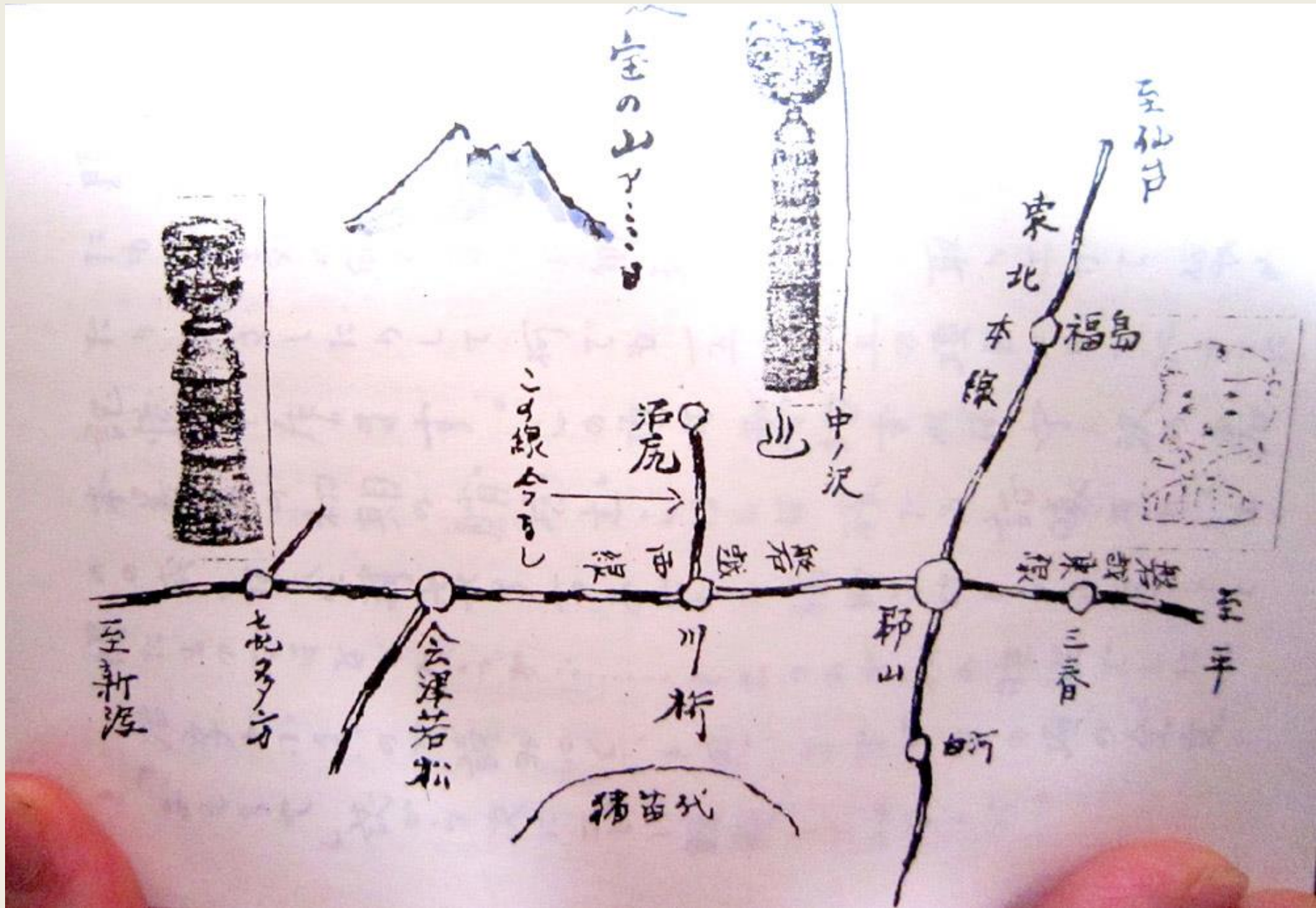










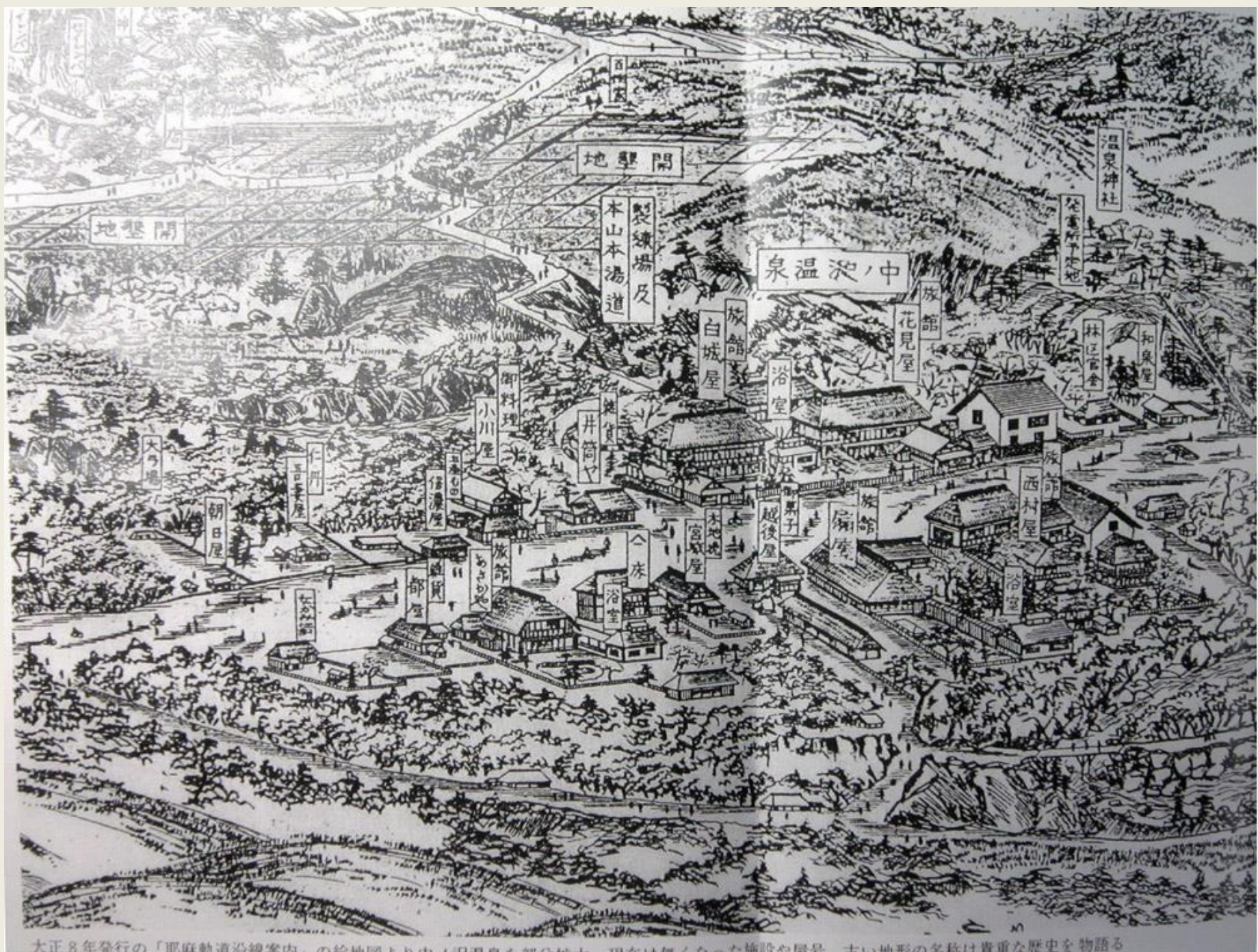








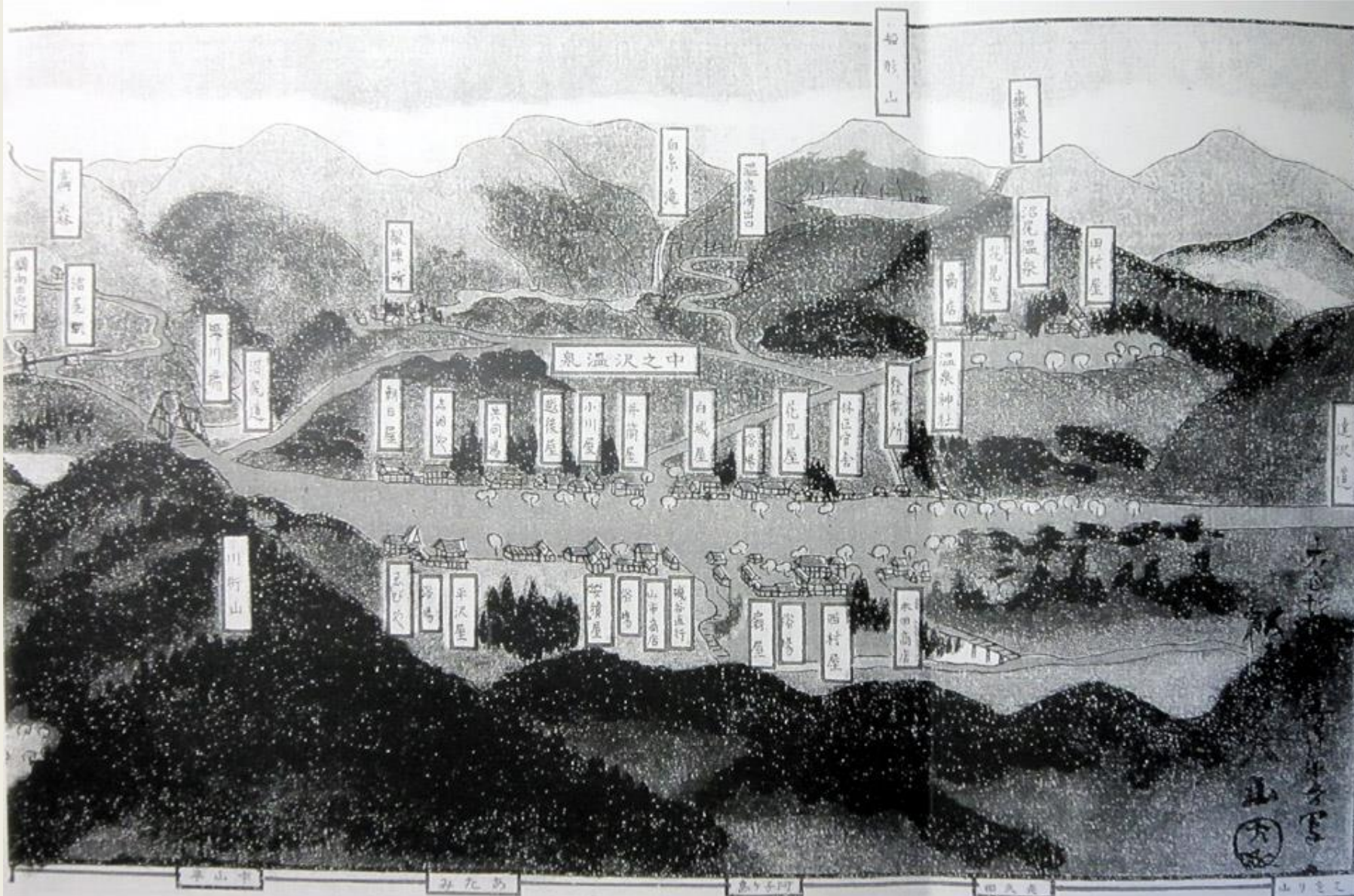




大正8年発行の「耶麻軌道沿線案内」の絵地図より中ノ沢温泉部分拡大。現在はなくなつた施設や屋号、古い地形の名称は貴重な歴史を物語る



國立公園 磐梯山附近名所避暑地温泉案内



大正14年発行の「磐梯山付近名所避暑地温泉案内」にみる中ノ沢温泉周辺







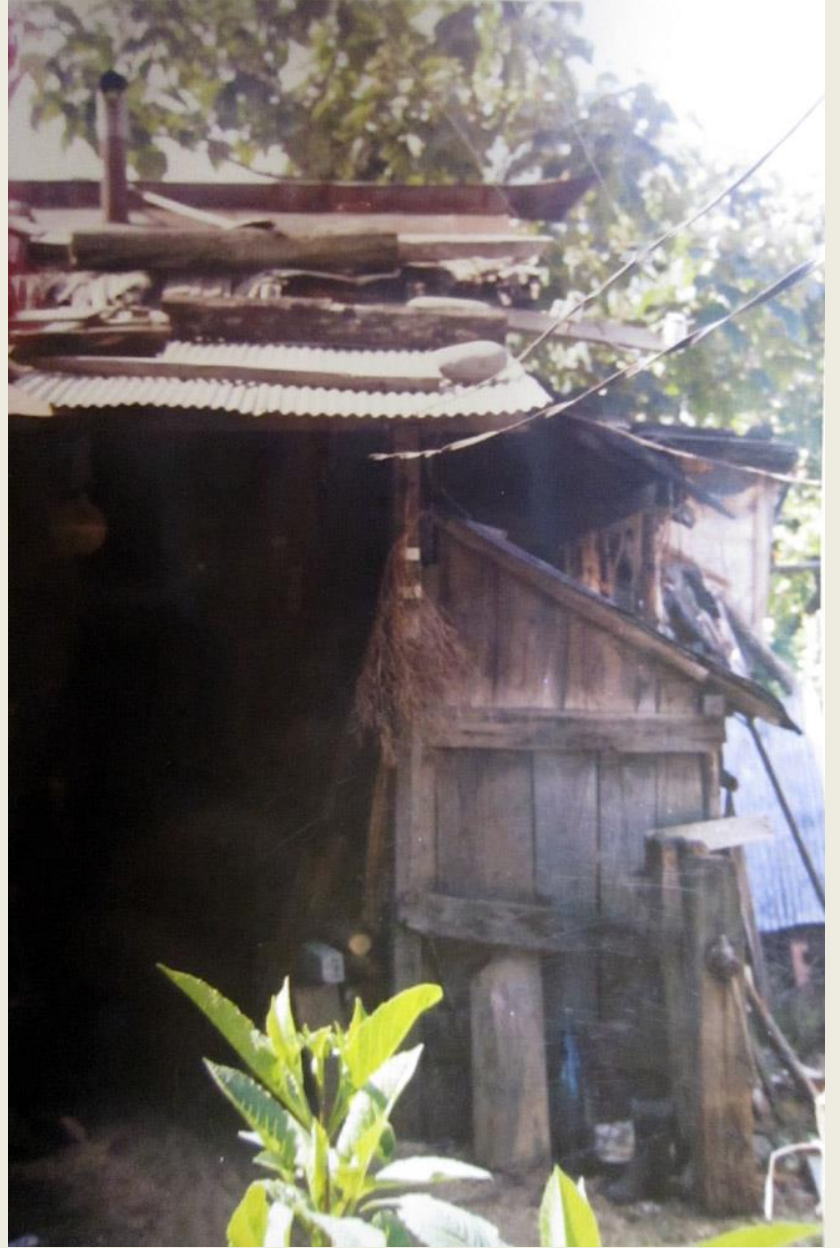








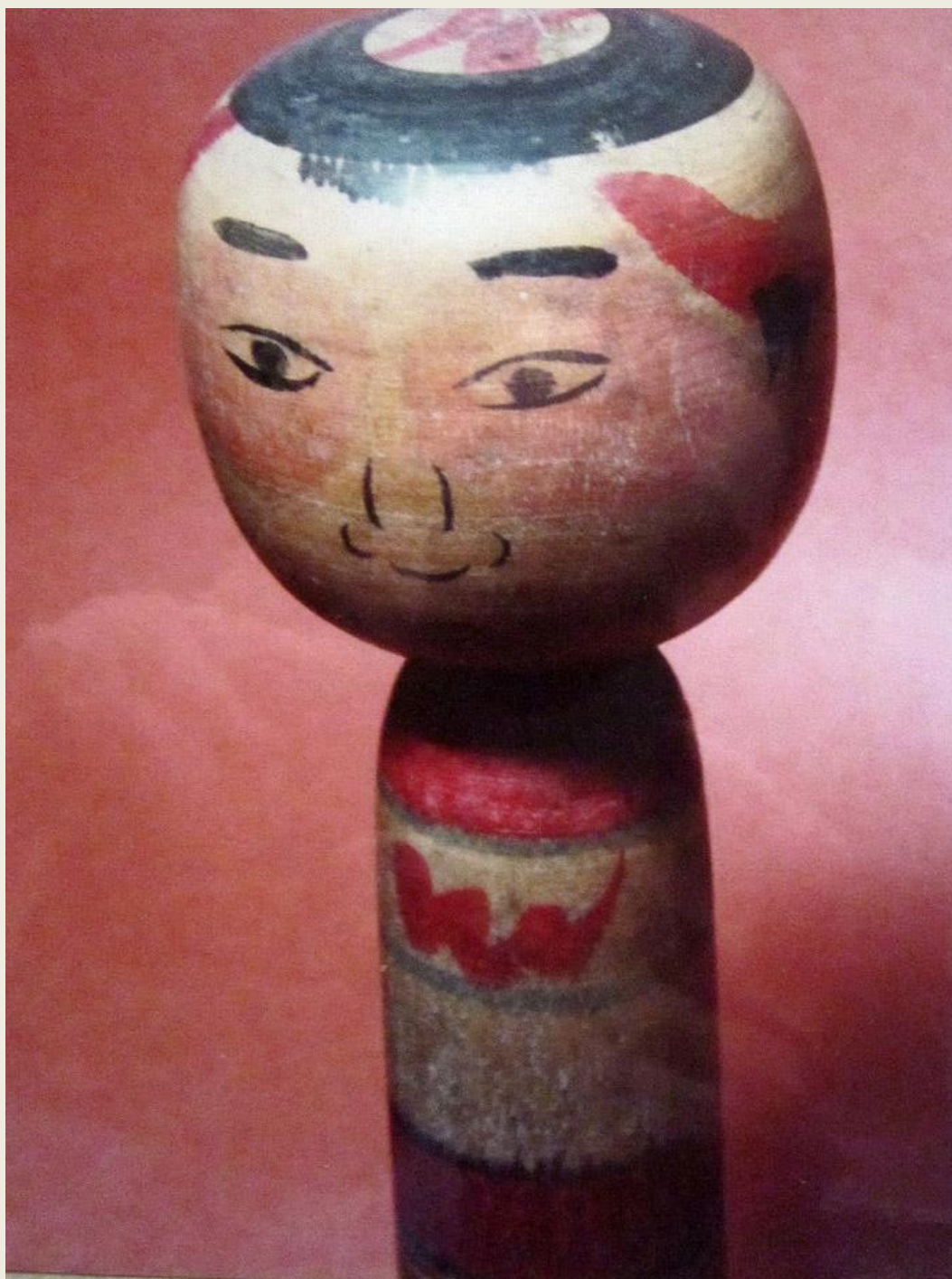


















# 岩本善吉

——前編——

恋は一筋 三味線の

系は三筋の綱渡り

人の落ち目と 木の葉の露は

風の吹きよで 流れ旅





















